

標準施工要領書

塗り床汚れイッキ落ち

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷5-4-6

TEL 048(297)4111 FAX 048(290)1198

1. 特 長

- 合成樹脂系塗り床材、塩化ビニール系長尺シート、Pタイル、クッションフロアに付着した汚れ（タイヤ痕、黒ズミ、泥汚れ、水垢、カビ、コケ、油汚れ）を容易に除去できます。
- 不燃性のアルカリ性洗剤です。

2. 養 生

- 1) 植栽等は枯れる恐れがあるため、十分な養生をしてください。
- 2) 大理石、御影石、タイル等、フローリング、プラスチック製品、塗料塗装面等は変色等不具合を生じることがありますので、十分な養生をしてください。
- 3) 金属部分（特にアルミ製品）に付着すると腐食・変色等の恐れがありますので、十分な養生をしてください。
- 4) プラスチック製品、塗料塗装面等、変色の恐れのある材質もありますので、事前に試し洗いを行ってください。

3. 工 程

工 程	材 料	施 工 器 具	使 用 量 (ml/m ²)	塗回数 (回)	間隔時間 (分)
材料塗り	塗り床汚れ イッキ落ち	ローラー 柄付きブラシ、刷毛 (プラスチック製 は除く)	50~200	1 以上	3~5
洗 浄	水	柄付きブラシ ポリッシャー モップ	———	———	常温で 乾燥養生

※上記の数値は全て標準のものです。1回で除去できない場合は、再度繰り返してください。

※室内等で水洗いができない場合は、ゴムレーキ等で集めて乾いたモップ・ウエス等で拭き取ってください。

4. 工 法

1) 材料塗り

汚れの箇所へローラー、刷毛、柄付きブラシ等を利用して、均一に塗布してください。

汚れの程度により液を 2 倍（水 100ml に原液 100ml）に薄めて使用してください。

3～5分放置しますと、汚れがより落ちやすくなります。

2) 洗浄

本剤を塗布後、塗布面が乾かないうちに（乾いた場合は、水湿しをします）全体を柄付ブラシ、ポリッシャー等でしっかりとこすります。汚れが浮いてきたら、全面を水洗いしてください。水洗いができない場合は、ゴムレーキ等で洗浄液を集めて乾いたモップ・ウエス等で拭き取ってください。

3) 乾燥

放置して自然乾燥させます。

（洗浄後は、完全乾燥させてから歩行してください。乾燥前に歩行すると汚れが付きやすくなります。）

一度の作業で汚れが除去できない場合は、この作業をくりかえします。

5. 注意事項

- 1) 用途以外には使用しないでください。また他の材料と混ぜて使用しないでください。
- 2) 本剤を移して使用する場合は、ポリエチレン容器をご使用ください。
- 3) 金属製のブラシ・タワシ、プラスチック製の刷毛は使用しないでください。
- 4) 部材自体が退色や変色、または艶の変化を生じる可能性があります。
- 5) 汚れの種類、程度により除去できない可能性があります。
- 6) 使用の際には、ゴム・ビニール製の保護手袋、保護眼鏡を着用してください。
- 7) 汚泥等汚れの層が厚い場合は、先にスクレーパーまたは皮すき等で除去した後に本剤を塗布してください。

- 8) 壁や天井など顔より高い箇所に使用する場合は、スポンジにつけて塗るなど、飛び散りやダレのないように注意してください。
- 9) 一度容器からとり出した材料は、汚染防止のため絶対に元の容器に戻さないでください。
- 10) 使用後は手をよく洗い、荒れ性や多量に使用した場合には、クリーム等での手入れをおすすめします。
- 11) 液が直接皮膚や衣類に付着した場合は、すぐに水などで十分に洗浄してください。
- 12) 眼に入った場合は、直ちに流水で 15 分以上洗眼し、異常のある場合には医師に相談してください。
- 13) 誤って飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、すぐに口をすすぎコップ 1～2 杯の水を飲ませてください。異常のある場合には医師に相談してください。誤飲を起こす恐れのある容器での保管は避けてください。
- 14) 吸入して呼吸が困難な時は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 15) 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 16) 材料の取扱いについては、製品に記載された注意事項をよく読んでからご使用ください。
- 17) 材料の保管は、0℃以上 40℃以下の雨露のかからない場所にしてください。
- 18) 側溝、河川、湖沼等には直接廃棄しないでください。
- 19) その他詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 20) 本剤の緑色が薄くなっても性能に問題はありません。

6. 梱包形態

内容量	形態	施工面積 (㎡)
1 L	ポリ容器	5～20

※施工面積は塗布する下地の種類、汚れの程度により増減します。